



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 鶴島 一広
 〒104-0032 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

一票で東京を日本を 変えよう

東京都知事選挙 16日投票 衆議院選挙

石原前都知事は突然、無責任に都知事職を投げ出し、「国政」に転身していきまし。これによって、都知事選挙がすでに11月29日に告示され、12月16日に投票開票されます。合わせて、野田首相の「近いうち」解散によって衆議院選挙も12月4日に告示され、同じく16日に投票開票となりました。この二つの選挙は今後の日本のあり方、平和と民主主義のあり方を問う重要な選挙です。

13年半に及ぶ石原都政は、知事が旗を振ったオリビック誘致や新銀行設立に象徴されるように都民の貴重な財産を無意味に浪費する一方で、都民のくらしと福祉を切り捨てました。「日の丸・君が代」処分によって、教育現場で民主主義が破壊

されました。そして、最後には都政とは何の関係もない尖閣問題に火をつけ、日中関係を極度に悪化させ、経済を大混乱させました。3・11東日本大震災を「天罰」、さらに東京が最大の電力消費地であるにもかかわらず福島第一原発事故による原発問題を「ささいな問題」と言い放ちました。多くの人々の心を傷つけたその言葉に石原都政の本質が示されています。



選ぼう
たしかな目で

来る都知事選はこのよう

2013年

新春のついで



日時

1月12日(土)
18時30分~

場所

文京区民センター

な石原都政と決別し、人々が人間らしく生きられる街、平和と人権を尊び、環境と福祉を重視する、「当たり前」の都政」に転換する絶好の機会です。憲法を尊重する東京にすること、脱原発を東京から進めていくこと、子どもたちのための教育を再建していくこと、貧困と格差をなくす東京にすることが新しい都知事に求められています。1300万の首都東京の知事選は一地方の首長選にとどまらず、全国の注目の選挙として位置づけられています。ですが、今回は衆議院選と重なり、都知事選で何が問われ、何が争われているのかという争点が「埋没」しかねないなかで、一人ひとりの関心と視点が非常に重要です。12月に入り、職場は最繁忙期を迎え、今年は選挙繁忙も加わりました。日々の忙しさのなかにもしつかりと社会に目を向け、都知事選では「人にやさしい東京」の実現、衆院選では脱原発、反TPP、消費税反対を掲げ、平和憲法を守る民主主義勢力の前進をめざし、一人ひとりの1票で東京を、日本を変えていきましょう。



「しもじもの苦しみを黙殺し、おのれの利と逸楽のみを追う藩主や上士は、幕府同様、本来、われらの敵じゃ。維新回天の夢は、まっとうに生きようとする民草が手を結び、宿敵を倒すことで実現するぜよ」と、小説「中岡慎太郎」で堀和久は慎太郎の思いを語らせている▼竜馬ブームを巻き起こすきっかけとなった国民的作家、司馬遼太郎。財界人が好んで読むといわれ、作品が英雄史観とも言われる。その著に、同じ土佐脱藩の陸援隊慎太郎を取り上げた作品はあるのだろうか。薩長同盟を東奔西走し成し遂げるため汗を流したのは、実は慎太郎であるという▼佐高信をはじめ司馬嫌い、藤沢周平を好むという人が結構いる。庶民の視点から描くのか、それとも、今風に言えば「上から視線」なのか。そう単純化できないにしても、ひとつの見方として示唆的だ▼「小皇帝」といわれ専制をほしいままにした人が都政を去り、新しい知事を選ぶ選挙が始まっている。「小皇帝」の後継者か、司馬よりは藤沢周平が好きだと言う「民草」の代表者か。私たちの選択が、今後の世の中を決める。(石)

慢性的要員不足・正社員増員を!

貯金・事務センで早朝宣伝

11月8日、東京地本組で混乱する事態も見られ、組合員と郵政産業労働者ユニオンの東京貯金支部組合員、もふくめた負担が増し、病部結成と組織拡大の朝ビラを行いました。民営化以後、雇用社員に依拠した体制の効率化、適正化、標準化を求め、期間雇用社員の正社員化、正社員の増員を求めている名目で、職場実態に現し、安心して健康に働くことのできる職場環境を

安心・安全の医療・介護実現のために

夜勤改善と大幅増員を!

通信病院

郵政産業ユニオン東京通信支部は11月7日、病院前で「夜勤改善と大幅増員を」求める署名活動を行いました。東京地本、医労連、区労連の応援を受けて総勢10名、90分の訴えで123筆の署名をいただきました。

「全国の病院では16時間を超える夜勤、2交代制が増えている。看護師23人に一人が過労死危険レベル。毎年10万人以上が離職し看護師の確保がきびしく病棟閉鎖の病院が多くな

つくることです。私たちはビラの中でこうしました。これからも皆さんとともにがんばっていきます。どうぞよろしくお願ひします。

東京貯金支部
国富泰子



た。病院の行動に始めて参加していただいた方は法政大学の学生の多さにびっくりし「大学に通学する若者がもう少し反応があれば」と感想を述べていましたが、逡病の組合員からは法政大学の若者たちもいつもにくらべてビラの受け取りは良く署名に応じてくれた人も多かったですと報告が出されて



手すき時間はどこにあるか!?

休息時間の取り上げダ!

働く者にとって、休憩・休息は労働者の健康と命を守る上で欠かせません。使用者にとっても、連続作業で能率が低下し、注意力も低下する事で労働災害を引き起こすことにもなりかねません。今回、集配外務の休憩時間の見直しが行われましたが、どこの職場でも、「まともな休息は取れていない」といいます。人件費削減で超勤も制限され、お昼休みも返上しての配達。それでも会社は見えて見ぬふりで、休憩時間もまともに休ませていない違法行為がづづいています。



そんな中で、「どこに手すき時間があるのか」との声は共通しています。支社は「管理者の休憩・休息時間を変更して休息時間を把握する」とのことでしたが、「最初の3日間だけ」「局は実態把握しても休憩時間を繰り越して与えていない」「放送でアナウンスしても多くが帰局していない」などの報告と同時にJP労組組合員から「休みは取れない。だまされた!」との声も届いています。これでは休息時間の取り上げです。

「安全・安心の医療・介護の実現のために、夜勤改善と大幅増員を求める」署名活動は全国でとりくんでいます。皆様のご協力お願いいたします。

各職場の実態を支部や地本に報告してみんなで改善を求めましょう。

当面の行動日程

- 12月6日(木) 第9回地本執行委員会 本部3階
- 1月8日(火) 春闘新春宣伝行動
- 12月16日(日) 都知事選挙、衆院選挙 投票日
- 1月12日(土) 新春のつどい 文京区民センター 18時30分〜
- 1月22日(火) 春闘闘争宣言行動 11時〜 厚労省一丸の内デモ 経団連
- 1月23日(水) 65歳裁判 10時〜東京地裁
- 1月25日(金) 高齢者再雇用拒否 13時〜都労委
- 1月28日(月) 富田裁判 10時30分〜地裁前宣伝
- 1月29日(火) 第1回東京地方委員会
- 1月30日(水) 13春闘決起集会 19時〜中野ゼロ
- 2月2・3日(土・日) ホール 中央委員会

